

世界の国を知る 🌐 世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

 サモア独立国 



【表紙の写真】

(上) 青い空の下を走る、
サモアのバス

サモアのバスは、中古車を改造して木製の車体を付けたもの。カラフルでとても味があります。

(下) サモアの親子

Contents

- 01 こんな想いを込めました!
- 02 こんな教材です!
- 03 なぜサモア独立国?

第1章 サモアってどんな国?

＝ポリネシア伝統文化が息づく
ゆったりと時間が流れる国＝

- 05 そもそもサモアはどこにある?
- 07 サモアンライフ、これってウソ? ホント?
- 09 お宅拝見! サモアの家を見てみよう!
- 11 フォトギャラリー ～サモアの風にふかれて～

第2章 へえ～! サモアと日本

- 13 サモアの学校、今なにをしているところ?
- 15 サモアの1日、わたしの1日
- 17 サモアと日本、つながりウソ? ホント?
- 19 ちょっとブレイク ～サモアの暮らし～

第3章 一緒に考えよう! こんな課題

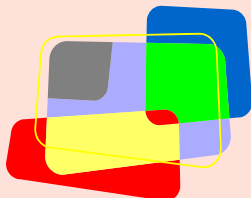
- 21 今、わたしにできること
- 23 同じ島国として
- 25 フォトギャラリー ～タロファ! サモアの人びと～
- 27 ちょっとブレイク
～サモアの歴史と受け継がれる伝統～

第4章 そして未来へ

- 29 未来を語ろう!
～忘れない。日本の強さと世界の優しさ～

★参考資料★

- 33 目で見るサモア
- 35 サモア地図
- 37 参考文献・データ等の出典
- 37 ご協力いただいた方たち
- 37 2011年度教材作成チーム



こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい！つなげていきたい！
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



● 国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。『国際交流』は決して難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していきたいと考えました。

● 人の顔が見える教材をつくりたい！

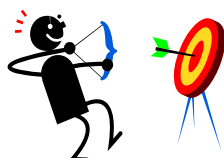
「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることもちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へえ～、こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

● 世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊か」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさん問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくるとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係ができればいいなと思います。

● 未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起きていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起きていることのほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



こんな教材です！

次のようなことを考えて作りました。

●ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学校高学年以上を対象としています。本書自体は、ファシリテーター（参加型プログラムの進行役）や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

●参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけでなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえそうなプログラムにしました。基本的には4～6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にいただければと思います。

●きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、サモアのほんの一面です。本書だけでサモアのすべてがわかるわけではありません。サモアに親しみを感じ、関心をもってもらおうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

●使い方は自由です

とはいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。参加者にあわせて、どんどんアレンジして使ってください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。

●カラーデータ・写真はダウンロードできます

カラーデータ・写真については、（公財）愛知県国際交流協会のホームページからダウンロードできます。ただし、著作権は出典元または（公財）愛知県国際交流協会に帰属します。学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。（<http://www2.aia.pref.aichi.jp/koryu/j/kyouzai/kyouzai.html>）

●本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2～4ページで掲載しており、実際に使っていただくプログラムと、それに関する説明とで構成されています。それぞれのプログラムの「ねらい」も記載していますので、参考にしてください。また、ページの下段に掲載している一口コラムは、プログラムとは関係なく、ちょっとおもしろい情報や用語の意味などです。必要に応じて活用してください。なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。



参加型のプログラムです。
必要に応じてコピーし、配布してください。



プログラムに関する説明です。
ファシリテーター・先生用です。



プログラムのねらいです。



ちょっとブレイク！一口コラムです。



プログラムに使う資料です。
必要に応じてコピーし配布してください。



コピーし、カード等に切り離して
使ってください。



プログラムで模造紙を使います。



プログラムでマジックを使います。



プログラムで付箋を使います。



プログラムでA4用紙を使います。
裏紙等を活用してください。



データ等の出典です。



写真の提供者です。



なぜサモア独立国？

始まりは、2005年愛知万博「一市町村一国フレンドシップ事業」

2005年に開催された愛知万博の会期中愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国（日本を除く）のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受入を行いました。この取り組みを「一市町村一国フレンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

- 世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
- 迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
- 万博会場内だけではなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
- 地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
- 地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国フレンドシップ事業」をさらに広げ、つなげていこうと作成したのがこの教材です。
そして、サモア独立国のホームタウンは設楽町でした。



愛知万博／南太平洋共同館



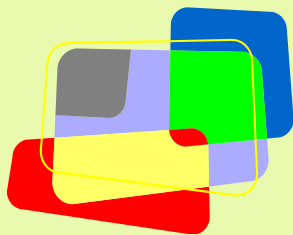
2012年作成 予定国 (38カ国)	アイスランド共和国 アイルランド アルゼンチン共和国 アルメニア共和国 イエメン共和国 ウクライナ エクアドル共和国 オーストリア共和国 カタール国 ギニア共和国 キューバ共和国 ギリシャ共和国 グ アテマラ共和国 クロアチア共和国 コスタリカ共和国 コンゴ民主共和国 サモア独立国 ザンビア共和 国 シンガポール共和国 ジンバブエ共和国 スウェーデン王国 ソロモン諸島 タンザニア連合共和国 チ ェコ共和国 ツバル ドイツ連邦共和国 トング王国 ナイジェリア連邦共和国 ニカラグア共和国 パラオ 共和国 バングラデシュ人民共和国 ブータン王国 ブルネイ・ダルサラーム国 ブルンジ共和国 ペルー 共和国 マダガスカル共和国 モーリタニア・イスラム共和国 ルーマニア
2011年作成 (22カ国)	インド 英国 エチオピア連邦民主共和国 エリトリア国 オーストラリア連邦 ガーナ共和国 カザフスタ ン共和国 コートジボワール共和国 ジブチ共和国 スイス連邦 スペイン王国 デンマーク王国 ノル ウェ王国 バヌアツ共和国 フィリピン共和国 ブルキナファソ ベトナム社会主義共和国 ポーランド共 和国 マレーシア ミクロネシア連邦 メキシコ合衆国 ロシア
2010年作成 (30カ国)	アゼルバイジャン共和国 アンゴラ共和国 アメリカ合衆国 イラン・イスラム共和国 インドネシア共和 国 ウガンダ共和国 カナダ グルジア コンゴ共和国 サントメ・プリンシペ民主共和国 スーダン共和 国 スリランカ民主社会主義共和国 タイ王国 タジキスタン共和国 中華人民共和国 チュニジア共和 国 トルコ共和国 ネパール連邦民主共和国 パプアニューギニア独立国 フィンランド共和国 ブルガリ ア共和国 ベネズエラ・ボリバル共和国 ベリーズ ボスニア・ヘルツェゴビナ ホンジュラス共和国 マーシ ャル諸島共和国 マリ共和国 ヨルダン・ハシェミット王国 リトアニア共和国 ルワンダ共和国
2009年作成 (20カ国)	イタリア共和国 ウズベキスタン共和国 エジプト・アラブ共和国 エルサルバドル共和国 カンボジア王 国 キリバス共和国 キルギス共和国 ケニア共和国 サウジアラビア王国 大リビア・アラブ社会主義人 民ジャマーヒリーヤ国 チャド共和国 ドミニカ共和国 ニュージーランド フィジー諸島共和国 ベナン共和 国 ベルギー王国 ボリビア多民族国 モロッコ王国 モンゴル国 ラオス人民民主共和国
2008年作成 (10カ国)	オランダ王国 カメルーン共和国 ガボン共和国 セネガル共和国 大韓民国 パキスタン・イスラム共和 国 パナマ共和国 フランス共和国 ポルトガル共和国 南アフリカ共和国



第1章

サモアってどんな国？

= ポリネシア伝統文化が息づく
ゆったりと時間が流れる国 =

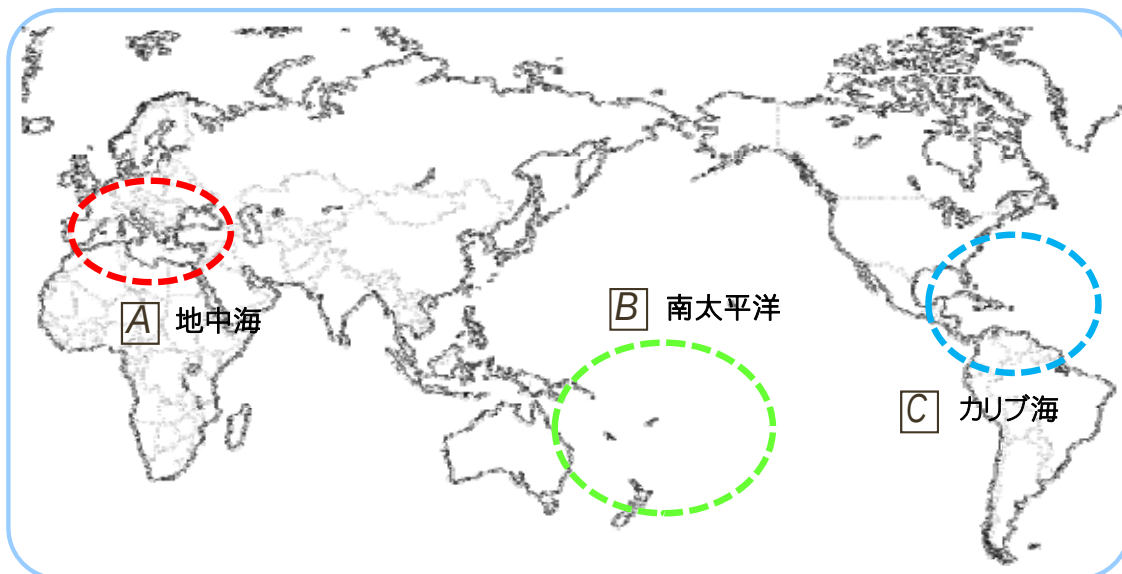


そもそもサモアはどこにある？

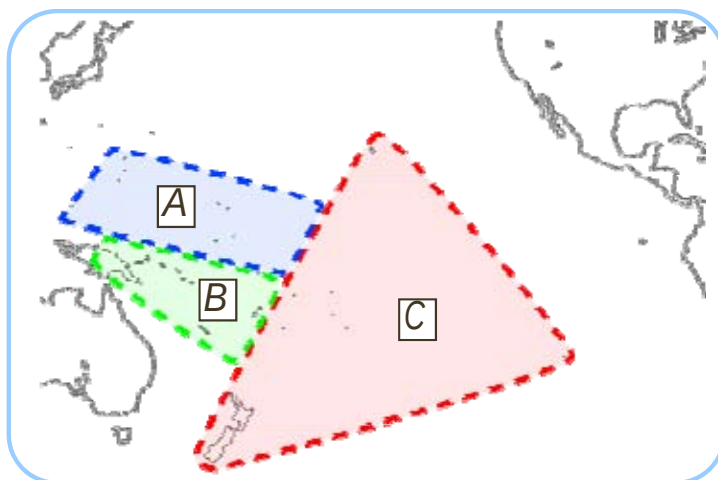


サモアがどこにあるか、まずは地図を見てみよう！

- ① サモアは、海に浮かぶ島国です。さて、どの海にあると思いますか？ 地図から選んでみましょう。



- ② サモアは南太平洋にある国です。もっと近づいてみましょう。
南太平洋の国々は、「ミクロネシア」「メラネシア」「ポリネシア」の3つの地域に分けられます。
さて、サモアはどの地域にあるでしょうか？



- A ミクロネシア
- B メラネシア
- C ポリネシア

ヒント！

サモアは、ニュージーランドとハワイのちょうど真ん中ぐらいに位置しています。

- ③ サモアがどこにあるか、分かりましたか？
ではもうひとつクイズです。次の写真のうち、サモアと同じポリネシア地域のものはどれでしょうか？
選んでみてください。



A クジラ島
(パラオ)

©パラオ政府観光局



B タブルブル火山
(パプアニューギニア)

wikipedia



C モアイ像
(イースター島)

wikipedia





3つの“ネシア” オセアニアの国々

① **B** 南太平洋

② **C** ポリネシア

③ **C** モアイ像



サモアはポリネシアに属しています。
ちなみに、パラオはミクロネシアに、パプア
ニューギニアはメラネシアに属しています。

南太平洋の地域を示す言葉に「オセアニア」があります。太平洋とは主として海を指し、オセアニアは、南太平洋の諸島や国々を指しています。サモアは、南太平洋にあるオセアニアの国のひとつです。

オセアニアは、身体的・文化的特徴から、大きく3つの地域に区分されます。ハワイ、ニュージーランド、チリのイースター島を結んだ三角形『ポリネシアントライアングル』のエリア「ポリネシア」、その西側の赤道よりも北側の島々「ミクロネシア」、赤道よりも南側の島々「メラネシア」です。人々の特徴として、ポリネシアは肌の色は褐色で髪はまっすぐかやや波状、身長が高く体も大きい人が多い、ミクロネシアは肌の色は同じく褐色で、東洋人のような目とまっすぐな黒い髪の人が多い、メラネシアは肌の色は黒く、体つきは中肉中背、髪は縮れたり巻いたりしている人が多い、という違いがあります。

海を渡る人々、ポリネシアの中のサモア

ヨーロッパ人がオセアニアの存在を知ったのは16世紀。しかし島々には、それよりもはるか前から人々が移り住んでいました。海の上に点々と浮かぶ島々に人が移住したということは、その時代にすでに海を渡る航海術や知識を持っていたということです。

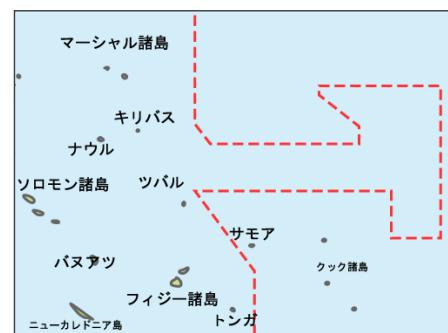
今から約5万年前、南太平洋の島に最初に到達したのは、東南アジアやアジア大陸に住んでいたオーストラロ・メラネシア系の人々でした。人々はさらに海を渡り、ニューギニア島北東沖合の島々、さらにソロモン諸島へと広がっていきました。約3万5000年前のことです。しかし、ソロモンから東の島々へは移動できませんでした。最大の理由は渡海距離の長さからとられています。そのソロモン諸島より東の島々への植民は、今から約3300年前、アジア系集団ラピタ人により起こりました。ラピタ人は、ニューギニア北東のアドミラルティ諸島に突如出現し、その後の数百年でフィジー、サモア、トンガにまで分布した痕跡が発見されており、このラピタ人がポリネシア人の祖先であると考えられています。ラピタ人がサモアよりも東の島へと植民するのはその約1000年後、今から約2000年前のことです。ラピタ人は、約1000年もの間サモアやトンガに留まっていたことになります。現在のポリネシア人の特徴である大柄な体つきや、その後のポリネシア文化を特徴づける文化や信仰体系の基本は、この1000年の間にサモアやトンガで生成されたと考えられています。

現在、サモアの人口は約18万人、そのうち90%以上は純血のサモア人です。サモアは、純血ポリネシア人が世界で一番多く暮らす国です。

世界で最後に日が沈む国...今は？

右の地図を見てください。サモアは日付変更線（赤い点線）のすぐ東にありますね。この線を境に、1日が区切られています。サモアは地球上で一番西にある国、つまり、「世界で最後に日が沈む国」でした。世界で最後の「今日」をこの目で見ようと、サモアを訪れる人も少なくありませんでした。

しかし、この日付変更線が2011年12月31日、変更されたのです！ サモアの議会が、主要貿易相手国であるオーストラリアなどと時刻を近づけるため、自国の時間帯を日付変更線の東側から西側に移行することに決めたのです。かくしてサモアは、「世界で最後に日が沈む国」から「世界で最初に日が昇る国のひとつ」になりました。現地時間の12月29日午後11時59分、30日を丸ごと1日飛ばして31日午前0時とし、日付を変えました。郵便局では、「未来への飛躍」と記された記念切手が発売されています。



↑
日付変更線



地図もない大昔、島に住んでいた人はどうして海の向こうに違う島があることが分かったのでしょうか。それは、毎年やってくる渡り鳥を見て、どこかに別の土地があるのではと察したと考えられています。

サモアンライフ、これってウソ？ホント？

① 次のカードは、サモアについてのあれこれ書かれています。はたしてウソかホントか？ 考えてみよう！

① サモアは大小合わせると約100の島々からなる国です。



② サモアの宗教はキリスト教。安息日の日曜日は家族で教会に行くのが習慣です。



③ サモアでは男の人でもスカートをはきます。正確には、1枚の布を巻きつける巻きスカートです。



④ サモアで一番人気のあるスポーツはソフトボール。世界ランキングは堂々の1位です。



⑤ サモアの刑務所は週休二日制。囚人でも、週末には刑務所を出て家に帰れるのです。



⑥ サモアで一番のぐちそうはブタ。放し飼いにされていて、あちこちでウロウロ歩いています。



⑦ サモアの人々は犬が大好き。どの犬も人懐っこく、公園には犬と遊ぶための場所が設けられています。



⑧ サモアでバスに乗るときは、必ず席に座らなければいけません。空いていなければ人のひざの上に座ります。



⑨ サモアの人々は時間に正確。首都アピアにある時計台は、いつも正確に時を示せるよう時計守の人がいます。



サモアの女性は、髪飾りによく生花を使います。お家の庭に咲いたお花をそっと髪に飾るのです。正装のときは必ず花飾りも一緒に、かぐわしい香りも衣装のひとつです。



サモアってどんな国？ サモアってこんな国！

1

×
ウソ

サモアは、ウパール島とサバイイ島の2つの大きな島で構成されています。2島の間にあるマノノ島とアポリマ島など、小さな島も合わせると、全部で10の島があります。

2

○
ホント

国民の90%以上がキリスト教を信仰しています。日曜日の午前中は教会へ行くのが習慣で、お店もほとんどが閉まっています。そのため、町は人通りがなくなります。どの町にも必ず1つは教会があり、クリスマスは家族そろって過ごします。

3

○
ホント

一枚の布を腰に巻き付けて着る「ラバラバ」で、性別に限らず使います。ラバラバはサモアの伝統的な衣装ですが、現地の人だけが着るのではなく、サモアに暮らす人は誰でも自分用のものを作って着ています。サモアの民族衣装は、このラバラバと「プレタシ」。プレタシは女性の衣装です。自国の伝統文化を大切にするサモアでは、西洋のスーツが入ってきている今日でも、正装はラバラバとプレタシと決まっています。国会議員も警察官も学校の先生もラバラバとプレタシ。模様もサモアの伝統的な模様を用い、派手な方が立派とされています。おそろいの柄でユニフォームを作ることもあります。



▲首都アピアの教会

4

×
ウソ

一番人気はダントツでラグビーです。7人制ラグビー「セブンス」のワールドシリーズでは、2009年に総合優勝をしています。このときは国を挙げてのパレードが行われ、急きょ国民の祝日になりました。ラグビーの世界ランキング1位は現在ニュージーランドですが、そのチームの中にサモア人がいること(サモアの血が入っていること)を誇りに思っています。



▲青年海外協力隊で派遣されている日本人教師もラバラバ

5

○
ホント

月曜日から金曜日までは刑務所内での畑労働をしたり国家元首公邸や道路の草刈りをし、週末になると労働がないばかりか刑務所を出て家に帰ります。毎週土曜日の朝、刑務所のトラックに乗って町の警察本部広場まで運ばれ、点呼と警察署長のお話の後に家族が待つ自宅へ帰ります。日曜日は教会へ行き、午後5時までに警察署前に集合、トラックに乗って刑務所へ戻ります。たまに脱走する人もいますが、サモアは小さな島国なのですぐに捕まえられます。古くからのシステムで、今まで特別なトラブルは起こっていません。

6

○
ホント

ブタの丸焼きは一番のごちそうで、お祝い事や客人が来たときに出されます。放し飼いでウロウロと歩いているブタですが、実はとても大切にされています。

7

×
ウソ

サモアの人々は犬が苦手。なぜなら怖いから。番犬は放し飼いで野良犬も多く、人を見ると吠えたりかみついたりしてきます。犬が近づいてきたらまず声を出して追い払います。それでもダメなら石を持って投げるふりをして脅します。それでもダメなら本当に石を投げて追い払います。

8

○
ホント

運転が荒いせいか、バスに立って乗ってはいけません。席が空いていなければ、座っている人のひざの上に座ります。たとえ他人でも、です。もし大柄な人が乗ってきて席に小柄な人が座っていたら、小柄な人が席を立て大柄な人が座り、その上に小柄な人が座ります。混雑していても、協力してスムーズに人の上に座っていきます。

9

×
ウソ

サモアの人々は、時間に対してあまりこだわりがありません。バスの時刻表もないぐらいです。首都アピアの中心部に時計台がありますが、ずっと針は同じ位置のまま、動いていませんでした。2010年9月、サマータイム制が導入されると、時計台も針を合わせ再び動き始めました。



▲ずっと止まったままだった時計台再始動したけど、今は...??



②教会、⑨時計台：阿部公／③ラバラバ：向井昌紀



ラバラバは一枚の布を巻いているだけ。めくれて足が出てしまわないように、下にひざ丈ぐらいのハーフパンツをはいています。

お宅拝見！サモアの家を見てみよう！



① サモアの人々はどんな家に暮らしているのでしょうか？ サモアがどこにあるかも含めて考えてみよう！

- ① あなたは「南太平洋の島国サモア」と聞いて、どんな風景を思い浮かべますか？
サモアがどんなところか、想像して絵に描いてみましょう。
- ② あなたはサモアにやってきました！
歩いていると、一軒の家を発見。それはどんな家でしたか？
①で描いた風景に、あなたが考えるサモアの家を描き足してみてください。
- ③ 下の写真は、サモアの伝統的な家「ファレ」です。
想像して描いた絵と比べてどうでしたか？ 想像通りだなと思ったところ、違ったなと思ったところなどを話し合ってみましょう。



- ④ サモアで見られる建物を集めてみました。③の家も含めて、どんな特徴がありますか？
意見を出し合ってみましょう。



〔海辺の小屋〕



〔政府観光局〕



〔学校の教室〕

- ⑤ サモアの建物は、日本の建物と比べてどこが違いますか？ また、それはなぜ違うのでしょうか？
話し合ってみましょう。



③ファレ、④海辺の小屋：阿部公

④政府観光局：ブログ「最後の楽園サモアの国へ」／学校の教室：向井昌紀



サモアでポピュラーな飲み物に、サモア産ココア「ココサモア」があります。カカオの種をよく煎ってすりつぶし、ペースト状になるまで練ったら冷やし固めます。これを、飲む分だけお湯で溶かして飲みます。



風通しバツグン！！サモアの伝統建築『ファレ』



▲ビーチ・ファレ



阿部公



▲集会所などとして使われるオープン・ファレ



阿部公



▲ヤシの葉のブラインド



向井昌紀

サモアには、「ファレ」と呼ばれる伝統的建築の家屋があります。典型的な造りは、円または楕円形の石積みの土台に木材の円柱を等間隔に置き、その上にヤシやサトウキビの葉で葺いたドーム状の屋根を置くというもの。床はサンゴの破片などが敷かれ、その上にタコノキの葉で編んだマットを敷いています。壁も窓もなく、特別大きな建物でなければ室内の間仕切りもありません。風通しがとてもよく、暑いサモアの気候に適した造りになっています。このファレの形は、南太平洋でもサモアだけの特徴です。民家だけではなく、学校、村の集会所、ビーチ小屋など用途ごとに作られ、観光客向けの宿泊用のものもあります。首都アピアにある国会議事堂や政府観光局は、ファレの伝統的な様式をかたどって作られ、サモアの伝統文化を象徴しています。

ファレには、風通しが良い他にも、島国の環境に適した工夫があります。それは家屋の造りにあります。各柱と屋根は、ヤシの繊維で編まれたロープで固定されている場合もありますが、多くの家屋では柱の上にただ置いただけという造りです。突風が吹いて屋根が飛ばされた場合でも、その屋根を拾ってきて補修して、また屋根の上に乗せれば修理完了です。壁も間仕切りもないファレですが、その代わりに、各柱の間の梁には、建物を囲むようにヤシの葉で編まれたブラインドがついています。普段は上げたままで、雨が降ったときや風が強いときは下ろして使います。

私たちならきっと、他人の視線をさえぎるためにブラインドを下ろすでしょう。しかしサモアでは、特別な理由がない限り下ろすことはありません。他人の視線を気にするよりも、むしろ視線を通してお互いに関心を向けあうことが大切と考えられてきたようです。

近年、ニュージーランドなどでの出稼ぎから帰った人たちによって、村落部にも西洋式の家が建てられるようになりました。壁や間仕切りのある家ですが、内部には大きなリビング空間があり、ファレと同じように夜はそこで家族全員で寝ます。西洋式の家に住みながら、それとは別にファレを建てる人も多くいます。

～ サモアの伝統『マタイ制度』と『カバの儀式』～

サモアは、南太平洋地域で最も伝統的な社会構造が残っている国です。民族衣装やファレもそうですが、中でも特徴的なものに『マタイ制度』があります。「マタイ」とは村の首長のことで、自治の中心となる人物です。サモアでは、親兄弟と親戚も含めた「アイガ」という家族単位があり、その長がマタイです。マタイは絶対的な存在で、被選挙権はマタイにしかありません。すなわち、国家元首や首相もマタイから選ばれた人です。日常生活のルールから揉めごとが起きた時の解決、土地の配分まで、全てにおいて大きな権限を持っていて、結婚もマタイの許しが必要です。

警察よりも村の規則とマタイの権限のほうが強く、大切な決めごとには各マタイが集まって会議を開きます。サモアの伝統的な生活スタイルは、この制度によって今日も保たれていると言えます。

マタイ会議を開くときは、「カバの儀式」を行います。カバとは太平洋諸島原産のコショウ科の植物で、伝統行事やお祭り、客人をもてなすときに飲まれます。カバの作り方、飲み方、飲む順番に厳しい作法があり、神聖な儀式です。

カバの儀式 ▶



向井昌紀



「ファレ」は言葉もいろいろあります。ファレ・オロア（品物）はお店屋さん、ファレ・ツペ（お金）は銀行、ファレ・パイパイ（閉じ込める）は刑務所です。



フォトギャラリー

～サモアの風にふかれて～

青い海と青い空。サモアの風景を紹介します。



太陽が降りそぐ南の国、サモア。果物が豊富に実ります。



サモアではよく虹が出ます。とっても大きい!!



ブタがウロウロ。



ニワトリもウロウロ。
頭数ではニワトリがNo1。



バスの天井。
車体は木で作られていて、優しい雰囲気を演出しています。

バスの中。
子どもは大人のひざの上に。

世界で最も早い、サモアの朝焼け。



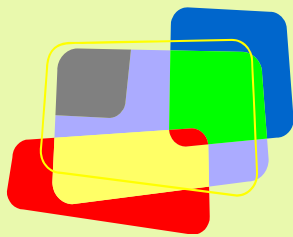
サモアのバスはとてもカラフル!
オーナーの運転手によってデザインが違い、バスターミナルには個性豊かな顔ぶれが並びます。





第2章

へえ～！ サモアと日本



サモアの学校、今なにをしているところ？



サモアの学校はどんな様子なのでしょう？ 写真から考えてみよう！

- 1 サモアの学校の様子を紹介します。それぞれどんな場面でしょうか？
なんだろう？ と思ったところ、おもしろいと思ったところ、日本と比べて違うところ、似ているところなど、
写真を見ながら思ったことを出し合ってみましょう。

A



B



C



D



E



F



G



H



A,B,D,E,F: 向井昌紀 / C,G,H : ブログ「最後の楽園サモアの国へ」





1

A B

どちらも授業の風景です。机と椅子はない場合が多く、ヤシの葉を編んだマットを敷いて床に座って授業を受けます。サモアならではのオープン・ファレの教室は、外の景色が見えて気持ち良さそうですね。



▲床に座って授業

C

中間テストを受けているところです。クラスの数に対して教室が足りない場合は、大きめの教室かホールに集まって、クラス分けなど関係なく一斉にテストを受けます。学年によっては、一人ひとつの机が与えられる場合もあります。



▲高学年のクラスは机有り

D

カルチャーデーの様子です。日本の文化祭にあたります。この日のために生徒はチームごとにおそろいの衣装を、先生もユニフォームを作ります。「サモアンフード・アイテム作り」というプログラムがあり、種目は、ココナツクリーム作り、料理早作り対決、ココナツの葉のカゴとカーテン作り対決。審査員が味や仕上がりをチェックして得点を付けていきます。生徒は文化祭を通じて自国の文化・芸術・技・伝統を学び、身につけていきます。



▲おそろいのユニフォームを着た先生たち

E F

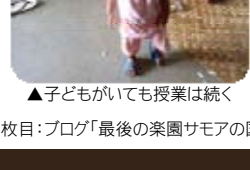
草刈り(E)と、刈った草を集めているところ(F)です。太陽がさんさんと降り注ぐサモアでは、すぐに草が伸びてしまいます。そのため、草刈り・草むしりは国にとっての必須作業。新学期も、草むしりから始まります。



▲子どもがいても授業は続く

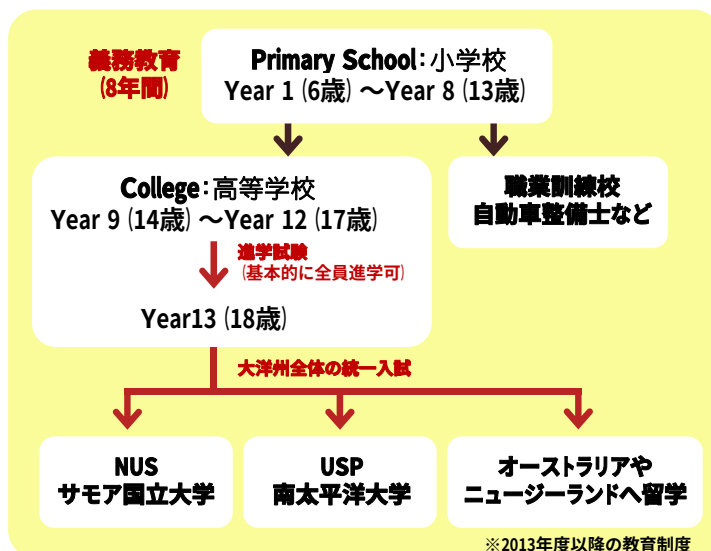
G H

これも授業の風景です。先生と先生の子どもです。サモアの学校では、先生が自分の子どもを学校に連れてくるのは日常茶飯事。子どもに構わず授業は進められます。行事で目を離すときやどうしても泣きやまないときは生徒が面倒を見ます。サモアでは、幼稚園は首都近郊に数校しかなく一般的ではありません。子どもはみんな育てるということですね。



1,3枚目：向井昌紀／2,4枚目：ブログ「最後の楽園サモアの国へ」

サモアの教育制度



●一日の流れ (一般の公立小学校の場合)

8:15- 8:30 全校集会またはクラスで朝の会
8:30-11:00 1・2時間目 (時間内に2教科行う)
11:00-11:30 昼食
11:30-14:00 3・4時間目 (時間内に2教科行う)

●授業の科目

- ・サモア語／社会／理科／算数
- ・英語はYear 3から始まる
- ・音楽は金曜日に1時間実施
- ・図工・スポーツは学期に1～2度行われる

ニュージーランドの植民地だったサモアは、独立後ニュージーランドの協力により学校教育は普及しています。公用語はサモア語で、識字率はほぼ100%。小学校8年間の義務教育で、その間授業料は無料です。2013年度以降、教育制度が変更され、公立の高等学校入学への国内統一試験が廃止されます。(私学は入試があります。) 小学校卒業後、公立の場合は原則地元の学校へ入り、卒業後の進路は、大学進学や留学、就職、家業・家事手伝いなどです。

年度は1月から始まり、3学期制。年度終了時、「Prize Giving」という式が行われます。各学年で年間を通して優秀だった生徒を科目別に表彰し、先生がプレゼントを用意して贈呈します。11月中旬の最終試験が終わると、先生がその準備に入るため授業はなくなり、生徒は歌やダンスの練習だけをして帰ります。



学校の行事のひとつに「ティーチャーズデー」があります。生徒が先生に感謝する日で、先生のために歌やダンスなどの出し物をします。家族との時間を作るために、いつもより早い時間に学校が終わります。

サモアの1日、わたしの1日



サモアと日本、普段の暮らしを比べてみよう!



- ① サモアでは、1日をどんなふうに過ごしているのでしょうか。
まず、模造紙の左半分に、あなたが普段1日をどう過ごしているかを書き出してください。昨日何をしていたかを思い出しながらかくと良いでしょう。
次に、右半分に、サモアではどう過ごすかを想像して書いてみてください。

<u>わたしの1日</u>	(時間)	<u>サモアの1日</u>
	0:00	
	+	
	+	
	+	
	6:00	
	+	
	+	
	+	
	12:00	
	+	
	+	
	+	
	18:00	
	+	
	+	
	+	
	24:00	

- ② では、1年間ではどうでしょうか。
祝祭日やイベントなどを、同じように書き出してみましょう。
次に、サモアでは1年間にどんな行事があるかを考えて書いてみてください。

<u>わたしの1年</u>		<u>サモアの1年</u>
	1月	
	2月	
	3月	
	4月	
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	
	11月	
	12月	

- ③ サモアと日本、比べてみて気付いたことや感想を話し合ってみましょう。



ココナツは、中にココナツジュースをたっぷり溜めた若いものを「ニウ」、ココナツクリームが採れる熟したものを「ポボ」と呼びます。ニウは、ジュースを飲み終わったら内側の果肉をスプーンで削って食べます。



サモアの1日

一般的な小学生の1日

<平日>

5:00 起床
7:30 登校して学校の掃除
8:30-14:00 学校
14:00 帰宅・家事手伝い
(お遣い、小さな兄弟の世話)
15:00 昼寝
18:30 教会に行きお祈りする
19:00 夕食
19:30 テレビ・近所の子と遊ぶ
宿題は5年生以上で出される
(1日30分程度)
24:00 就寝

サモアはキリスト教の国。国民のほぼ全員が敬虔なクリスチャンです。毎日のお祈りを欠かすことはなく、安息日には家族で教会へ行きます。教会は、小さな子どもからお年寄りまでみんなが集う場所であり、世代間をつないで生活習慣や伝統を引き継ぐ大切な場所でもあります。

学校が終わると、近所の友達と外で遊んだり、小さな兄弟の世話をしたりして過ごします。年上の子は年下の子の面倒をよく見て、年下の子は言うことをよく聞きます。

<休日>

8:00 起床
9:00 朝食
10:00 教会でお祈り
12:00 家族揃って昼食
13:00 昼寝
17:00 教会でお祈り
18:00 夕食
22:00 就寝

目上の人を敬う精神が強く、たとえばバスに年配の人が乗ると、若い人は何も言わずに後部座席に移動します。学校では、生徒が先生のお茶を入れたりお遣いをしたりします。家庭では、家事の手伝いは毎日のこと。子どもが全ての家事をこなすことができます。

サモアの1年

主な祝祭日と行事(2011年)

1月 新年
[サイクロンシーズン到来]
4月 22日 グッドフライデー
25日 イースターマンデー
(グッドフライデーから4連休)
5月 9日 母の日
[乾季到来]
6月 1日 独立記念日
8月 15日 父の日
9月 第1月曜日の週
テウイラ・フェスティバル
10月 第2日曜日 ホワイトサンデー
※パロロ収穫期
11月 [雨期到来]
※パロロ収穫期
12月 25日 クリスマス
26日 ボクシングデー
31日 ニューイヤーズイブ

※サモアの珍味『パロロ』

太さ2mm位の緑色をした海虫で、ミミズやゴカイの仲間です。普段はサンゴの中に住んでいて、10月と11月にだけ繁殖活動のため海面に表れます。サモア人はこのパロロが大好き。収穫できるのは満月の一週間後の明け方だけと限られていて、パロロ予報が出ると、年一度のチャンス逃すまいと網を手に海へ出かけます。

●テウイラ・フェスティバル

テウイラとはサモアの国花で、赤く美しい花を咲かせます。イベント事で会場をデコレーションするときは必ずと言っていいほどこの花が使われます。毎年恒例のテウイラ・フェスティバルでは、伝統のファイヤーダンスやミスサモアのコンテストなどが開かれ、国中が盛り上がります。

美しいテウイラの花 ▶



●ホワイトサンデー

サモアでの毎日の食事は、大人や客人が先に食べ、そのあと残ったものを子どもが食べるという順番です。大人が食べている間、子どもたちは物を運んだりハエを追ひ払ったりと働きます。でも、ホワイトサンデーだけは別。サモア版子どもの日であるこの日は、全てにおいて子どもが優先され、食事最初に食べられます。大人は子どもたちの身につけるものを新調し、準備や買い物で大忙し。前日ともなると、子どもたちはみんなウキウキし始めます。1年に1回のこの日を心待ちにしているのです。



▲衣装はみんな白。新しい服、靴、アクセサリーでおめかし。



▲教会で開催されます。



ブログ「最後の楽園サモアの国へ」



平日毎朝、首都アピアで警察官のパレードがあります。ブラスバンドの演奏とともに行進し、政府省庁の前で国歌斉唱と国旗掲揚を行います。人々は国旗のほうを向いて直立し、敬意を払います。

サモアと日本、つながりウソ？ホント？

❓ サモアと日本の関係は？ ウソホントクイズに挑戦しよう！

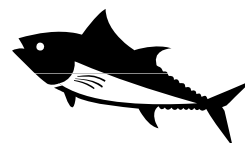
① サモアは、日本と同じく四季があり、秋にはきれいな紅葉が見られる。



② サモアと日本の時差は、-20時間だ。



③ 島国サモアは魚が豊富。マグロの刺身はサモアでも「SASHIMI」と言う。

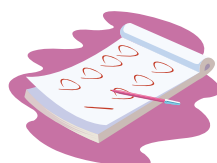


④ 「してはいけない事」という意味の言葉、「タブー」。もとはポリネシア語だ。

NO!



⑤ 日本には、サモアを含む太平洋の島々についての知識を試す『太平洋諸島検定』がある。



⑥ サモアには、「パシフィックインターナショナル」という、サモアと日本のかけ橋ともいえる会社がある。



⑦ サモアの主要な2島「ウパール島」と「サバイイ島」を結ぶ船は日本から贈られた。船の名前は「SAMOA-MARU」だ。



⑧ 2005年に開催された愛知万博、サモアのホームシティである設楽町に、サモアの人はまだ来たことがない。



⑨ サモアで効果をあげているゴミ処理方法「福岡方式」。開発したのは日本人の男性、福岡さんだ。



サモアで人気のスポーツは、ラグビーの他にクリケット、バレーボール、レガッタなど。クリケットは旧宗主国ニュージーランドの影響です。



- 1 **×**
ウン サモアの季節は5～10月の雨期と11月～4月の乾期です。雨期は湿度が高く、サイクロンのシーズンでもあります。1年の平均気温は26～27℃で、寒暖の差はほとんどありません。
- 2 **×**
ウン 2011年12月29日までは-20時間でした。サモアは、主要貿易相手国であるオーストラリアなどと時刻を近づけるため、自国の時間帯を日付変更線の東側から西側に移行することに決めました。2011年12月31日以降、日本との時差は+4時間になります。
1892年、当時最大の貿易相手国だったアメリカからの要求で、時間帯を日付変更線の東側に変更しました。その後近年のオーストラリア、ニュージーランド、アジア諸国との貿易拡大に伴い、約20時間という時差による商取引の弊害をなくすため、西側に戻すことにしたのです。商取引だけではなく、周辺諸国に住むサモア人のためにも、本来の時間帯に戻るほうが適切であるとサモアの首相は語っています。
- 3 **○**
ホント サモアにも、魚を生で食べる習慣があります。醤油とワサビをつけて食べる刺身を「サシミ (SASHIMI)」、マグロの輪切りを「サカナ (SAKANA)」と言います。この習慣は、日本のマグロ漁船から伝わりました。このほか、刺身をココナツミルクベースのマリネ液であえた「オカ (OKA)」も一般的に食べられています。日本の食卓にあがるマグロやカツオは、その約80%が太平洋の水域で水揚げされています。知っていましたか？
- 4 **○**
ホント ポリネシアに西洋の文化が入る前、「マナ」という超自然的な力に対する信仰がありました。神からの直系とされる人物を祖先とする家系がもっともマナの強い家系であり、その長男が組織の頂点である首長に代々就いていました。マナの力は、触れると伝染していくと考えられ、首長がテーブルに触れると、そのテーブルは強いマナを帯びると考えられました。そして、弱いマナの平民が強いマナに触れると死んでしまうと考えられ、首長が触れたものには平民は触れてはならないとされました。これが「タブー (聖なるもの、禁じられているもの)」です。タブーという言葉は、キャプテン・クックが大航海時代にヨーロッパに持ち帰り、世界に広がりました。
- 5 **○**
ホント 学生の非営利団体である一般社団法人日本学生会議所の日本太平洋諸島学生会議が主催する検定で、2011年に第1回が開催されました。検定の収益は、太平洋諸島からの留学生への奨学金や太平洋諸島の学生の研修費用に充てられます。
- 6 **○**
ホント 大石敏雄氏が設立しました。大石氏は、1967年にサモアへ渡り、以来40年以上にわたってサモアをはじめ南太平洋の島々との事業を行っています。内容は幅広く、旅行の手配、各種イベント、輸出入の貿易業務、現地での日本食レストランの展開などを行います。サモアのオフィスの2階には、サモアについてのあらゆる情報を取りそろえたツアーデスクがあり、サモアと日本人をつなげる場所として欠かせない存在になっています。
大石氏は、その人柄と実績からサモアの人々の信頼を得て、外国人として最高名誉である村の首長に任命されました。
- 7 **×**
ウン 船を寄贈したのはホントですが、名前が違います。「LADY SAMOA (レディ サモア)」と言います。日本政府による無償資金援助によって建造されました。このプロジェクトには、⑥のパシフィックインターナショナルも協力しています。
- 8 **×**
ウン 平成18年、外務省が行う「日本・PIF (太平洋諸島フォーラム) 未来創造高校生交流事業」にて、愛知県設楽町田口高校の生徒5名がサモアへ派遣されました。その後、ホームステイ先だったサモアの高校生5名を設楽町に招き、今度は設楽町の高校生の家庭にホームステイをしました。お互いの国の文化や暮らしを体験し、交流を深めました。
- 9 **×**
ウン 福岡市と福岡大学が開発したので「福岡方式」と呼ばれています。日本で一般廃棄物処分場の標準構造として採用されている「準好気性埋立構造」という方式を、開発途上国の状況に合わせてローコストで適用できるように造り変えたものが「福岡方式」です。世界的にも有名な方式で、大洋州ではまずサモアでモデル事業として導入、実施し、高い効果を上げました。その後、パラオやバヌアツなどにも導入が進められ、今後も同じような地理条件を持つ島々への普及が期待されています。



▲LADY SAMOA III



▲お互いの国の民族衣装を着る高校生





ちょっとブレイク ～サモアの暮らし～



ポリネシア伝統料理 石のオープン『ウム』



▲サモアの市場



▲ウムでの調理

ポリネシアには米や小麦などの穀物の栽培が伝わらなかったこともあり、古くから主食はタロイモやヤムイモなどのイモ類や、ココヤシ、バナナ、パンノキなどの果物でした。サモアの市場にはこれらの作物が並びます。太陽の下、たわわに実をつける植物は、島の人々の暮らしを支えています。

南太平洋の島々での調理方法に、ロボまたはウムと呼ばれる地炉による石蒸焼き、いわば、地面に作る石のオープンがあります。古来からの伝統的な方法で、サモアではウムと呼ばれます。まず火をおこして石を焼き、その上に食材を乗せ、全体を熱が逃げないようにバナナの葉で覆い蒸し焼きにします。サモアでは、今もこの伝統的なウムで料理を作ります。どの家庭にも「ウムクッカ」という料理用の小屋（台所）があり、西洋風の家に住む人でも必ずこれを建てます。あらゆるものが調理され、お祝い事で出されるブタの丸焼きもウムで作ります。

日曜日の朝、サモアのあちこちでウムの煙が立ち上ります。キリスト教の国サモアでは、午前中に家族揃って教会へ行き、帰宅したらみんなでウム料理を食べるという習慣があります。ウム料理はできあがるまで1～2時間かかるため、朝から準備をするのです。日曜日の昼食は「トオナイ」といって、サモアで一番のご馳走です。



上：向井昌紀／下：阿部公

万能&大活躍！ココヤシの木

「南の島サモア」と言われて何をイメージしますか？青い海、青い空、そしてヤシの木を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。どんな土地でも育ち、手入れがいらず、果実をたくさんつけるココヤシの木は、サモアの暮らしのすみずみにまでわたって大活躍。幹は建築用の材木に、葉は屋根やマットやカゴに、実は食料・飲料・調味料に、乾燥させて絞れば油がとれ、殻は食器や工芸品に、よく燃えるので燃料にも。実に多様な用途で使われ、捨てるところがありません。



◀ 実の内側の果肉を削って絞り、ココナツミルクを取ります。

▼ 伝統料理「パルサミ」。タロイモの若葉にココナツミルクを包み、さらにパンノキの葉で包んでウムで蒸します。



▲ 食材を入れるカゴもヤシの葉で。ヤシのカゴは、普段の買い物袋などにも使います。

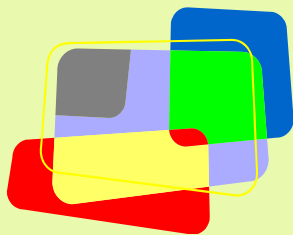


阿部公



第3章

一緒に考えよう！こんな課題



今、わたしにできること



自然災害に対してわたしたちは何ができるでしょうか。4～6人のグループになって考えてみよう。

- 1 2009年9月29日、サモア沖でマグニチュード8.3という巨大地震が起きました。
まずは個人で次の文章を読んでください。

2009年9月29日の午前6時48分、サモア島沖で地震が起きました。震源地は首都アピアの南沖190km、震源の深さは18km、マグニチュードは8.0という巨大地震です。発生から約10分後、ウポル島東沿岸地域を津波が襲いました。海沿いのアレイパタ村は壊滅状態。サモアで最も美しいビーチとして有名な観光スポットです。死者・行方不明者が出ているとの報道が流れ、被災地には国内外から多くのボランティアが入りました。水・陸・空からの捜索が続き、並行して、がれきの処理や救援物資の配達、治療などの医療活動が行われました。

サモアでは全島で年に一度避難訓練が行われますが、地域によって差があったようです。訓練を行っていた地域は、警報が出るとみな高台に移動し、被害が少なく済みまし。また、村のリーダーであるマタイ※の指示ができていたところでは、お互い声をかけたり教会の鐘を鳴らしたりして団結して避難し、被害が少なかったとのこと。

津波は、周辺のアメリカ領サモアやトンガにも死者が出るほど深刻な被害をもたらしました。サモアでは、震災から1年たっても、犠牲者のために教会でお祈りしたり断食したりする人がいます。

※マタイ...P10コラム参照

- 2 自然災害は、私たちににとって避けられないものです。自然災害が起きたとき、私たちは何ができるでしょうか。また、何を大切にすべきでしょうか。
サモアで起きたことを読んで、思いつくことを付箋に書き出してみましょう。
付箋には、1枚につき1つの意見を書いてください。
- 3 模造紙を3つに仕切ります。
「自然災害が起きたら」とタイトルを書き、「起きた時に必要なこと」「起きた後もずっと必要なこと」「普段からできること」の3つの項目名を書いてください。

自然災害が起きたら…		
起きた時に必要なこと	起きた後もずっと必要なこと	普段からできること

- 4 ②で書いた付箋を、あてはまる場所に貼っていきましょう。1つの付箋が2つ以上の項目に入る場合は、模造紙に直接書いて追加してください。
- 5 分けてみてどうでしたか？気づいたことを話し合ってください。
- 6 では、自然災害に対してあなたが今できることは何でしょうか。模造紙も見ながら、個人でA4の用紙に書き出してみましょう。
- 7 全体で発表・共有し、感想を話し合ってみましょう。



ポリネシアといえばファイヤーダンス。サモアはファイヤーダンスの本場で、国際大会も開催されます。



島国における自然災害



▲津波被害の現場



武田敦岐



▲多くの人がテント暮らしを余儀なくされた



ブログ「最後の楽園サモアの国へ」

2009年9月29日に起きたサモア沖地震は、サモアに壊滅的被害をもたらしました。津波の高さは6mとも伝えられ、確認された死者の数は143人、行方不明者は6人。数百人が家を失い、避難生活をしいられました。サモアの人口が約17万人（当時）だということを考えると、いかに被害が大きいかが分かります。美しいビーチも被害に遭い、観光による収入の低下は避けられない状況になりました。

島国や海に面している地域では、地震発生と同時に津波も警戒しなければなりません。サモア沖地震では周辺諸国でも津波警報が発表されました。日本でも太平洋側全域で津波注意報が出され、岩手県久慈市では最大36cmの津波が観測されています。

あなたは、自分のまち以外で自然災害が起きたとき、どんなことができますか。また、自分のまちが自然災害に遭ったとき、どんな行動をとりますか？ 自然災害に対して、普段からどんな備えができますか？

どこで起きたことでも、決して「他人の出来事」ではありません。私たちの住む地球で起きたことです。被害に遭った人の気持ちを想像し、心に寄り添い、自分に何ができるかを考えることが大切ではないでしょうか。また、いざというときには、普段からの行動や人間関係が影響します。情報を共有しているか、必要な知識を身につけているかなど、もう一度考えてみてください。そして何より、周りの人と良い人間関係を築くことが、一番の備えです。

わたしにできること

震災発生後、日本からサモアに派遣されていた青年海外協力隊員は、自分たちに何ができるかを模索し、被害調査、救援物資の分配、行方不明者の搜索、被災後の清掃作業などの活動を続けました。被害の現状を見るうち、被災者の心を元気づけるような支援ができないかと思うようになり、ペットボトルでクリスマスツリーを作ってプレゼントすることを考えました。キリスト教の国サモアだからクリスマスツリーは喜んでもらえるのでは、夜の闇の中で輝く美しいツリーを見て元気になって欲しい、そんな思いから生まれたアイデアです。

ペットボトルツリーには、もうひとつ大切な思いが込められていました。それは環境教育です。調査や清掃活動で分かったことは、災害ごみはペットボトルやビニール袋などのプラスチック類と家電製品がほとんどだということ。プラスチックは自然に還らないばかりか、水がたまってデング熱を媒介する蚊が発生します。災害現場で、環境や衛生問題についての知識とごみの正しい捨て方を伝える必要性を強く感じた隊員が発起人となり、ペットボトルを通して震災と環境を考えるイベントを企画しました。まず被害のなかった首都の小学校で、被災地の現状と防災の大切さを伝え、ごみとなったペットボトルを紹介。ごみを散らかしてはいけない理由とリサイクル・リデュース・リユースの3Rの説明をしました。その後、生徒たちとともにツリーを制作。80人の生徒たちとともに、高さ2.5mのツリーを2本完成させました。2009年12月16日、被災地にツリーを移設。3Rの大切さを伝えたあと、みんなでカウントダウン。ツリーに明かりが灯ると、会場は笑顔と歓声に包まれました。この様子は、サモアの新聞で取り上げられ、紹介されています。



▲子どもたちの写真付きメッセージと3Rをパネルで紹介



▲ツリー点灯の前に3Rを説明



▲美しい明かりが灯り、笑顔があふれた



ブログ「最後の楽園サモアの国へ」



JICAがサモアで展開している活動のひとつに、基礎理数科教育向上プロジェクトがあります。教師のスキルアップも目標とし、よりよい授業のために先生同士で知恵を出し合うワークショップも行われています。

同じ島国として



サモアが抱える課題とは？ 解決には何が必要か、4～6人のグループになって考えてみよう。

- 1 サモアも日本も海に囲まれた島国ですね。
では、島国にはどんな特徴がありますか？ 思いつくことを出し合ってみましょう。
- 2 下のアイテムは、サモアの特徴を取り上げたものです。カードの中身を読んで、「サモアのいいところだなと思うこと」と「サモアの課題だなと思うこと」に分けてみてください。作業をしながら、これ以外に思いついたことがあれば、付箋などに書いて追加していきましょう。



A 小さな島国だけに、 人と人とのつながりが強い。	B 新しいものを取り入れるより、 昔からの伝統を大切にする国民性。
C ポリネシアの伝統文化が 色濃く残っている。	D 食生活や生活スタイルが変化し、 肥満になる人が多い。
E 人口が少ないため、 産業が育たない。	F 外国から遠く離れているため 商業が発展しにくい。
G 国内で高い知識を得られない。	H 自国の伝統文化を誇りに思っている。
I 植民地だった時代がある。	J 常夏の島、魚と果物が豊富
K プラスチック類が輸入されてゴミ が増えた。国土が小さいため、廃 棄物処理には限界がある。	L 家族を大事にする。 サモアの家族は、親兄弟に 親戚も含めた大家族！
M 台風などの自然災害を受けやすい。	N みんな自分の国が大好き。

- 3 サモアには、どんな「いいところ」と「課題」がありましたか？
ではここで、「課題」について考えてみたいと思います。
実は、サモアと同じような課題を南太平洋の他の島々も抱えています。違う国で同じ課題を抱えているとき、解決には何が大切だと思いますか？ 意見を出し合い、A4用紙に書き出してみましょう。
- 4 ②で課題のほうに分けたものについて、どうしたら解決できるかを考えてみましょう。
③で出した意見もふまえて、「こんな取り組みがあったらいいのでは」というアイデアを模造紙に書き出していきましょう。また、その取り組みによってどんな効果が生まれるかも考えてみましょう。
- 5 グループごとに発表し、全体で共有したら最後に感想を話し合ってみましょう。



1986年、サモアは自国の文化とサモア語を奨励するために、独自の国立大学を作りました。母国語に誇りを持って話して欲しいと、指導者は考えています。



『南の島』について

◆島国が抱える課題 … D E F G K M

海に囲まれた島国には、島国ならではの特徴があります。それらは島国としての魅力であり、課題でもあります。サモアも例外ではありません。

南太平洋の国々は、文化の面で似ている点が多く、同じような植民地支配を経験しています。そのため人々は感情を共有しやすく、お互いを理解できていると感じています。国が抱える課題は、国というよりも太平洋という地域の課題ととらえ、その解決のためにはお互いの理解と交流を深めることが重要と考え、国の枠組みを超えた取り組みがなされています。

南の島というと、よく「楽園」と表現され、そのイメージを持つ人も多いでしょう。しかし、楽園と呼ばれる風景は、島の人々が資源のない過酷な環境の中で、飢餓を乗り越え、自然と対峙し、長い時間をかけて土地に根付いた暮らしを作り上げた結果です。イメージとは、ある一方から物事を見たうえで、自分が持つ既存の価値観にあてはめたことによって生まれるものかもしれません。「南の島」は、決して現実からかけ離れた世界ではなく、私たちと同じ今を生き、海によってつながっているのです。

国の枠組みを超えて

●南太平洋大学

1968年、南太平洋地域における最初の高等教育機関として、島地域の経済的自立と発展を目指し、154名の学生でスタートしました。現在の総学生数は約1万9000人、南太平洋12の国と地域によって運営される、南太平洋最大の総合大学です。一部研究分野には大学院教育も備えられ、海外研究者のためのカウンターパートとしても重要な国際機関となっています。各国から入学した学生たちは、学生生活の中でお互いを知り合います。ここから南太平洋という地域的な連携が生まれていきます。メインキャンパスはフィジーにありますが、インフラの問題からフィジーへの留学が難しい国があることなどに配慮して、加盟諸国全てに分校や大学センターが設けられ、総学生の約半数以上は遠隔地教育を受けています。サモアには、農学部専門学部および訓練研究所が設置されています。

●太平洋芸術祭

1972年の第1回以来、4年ごとに開催されています。目的は、太平洋の人々が芸術を通して文化交流を行い、友好関係を築くこと。国ごとにダンスや音楽を披露し、芸術祭をきっかけに留学するアーティストもいます。太平洋の国または地域が順に主催国となり、会場を準備します。各国から訪れる代表団の食事と宿泊場所も用意し、もてなします。広大な海でつながる島の人々がこの芸術祭によって一堂に会し、多様性とアイデンティティを保ちながら多くのことを共有しています。

●南太平洋競技大会

南太平洋22の国と地域が参加する国際スポーツ大会。スポーツを通じて、他国の文化・習慣の理解と交流を深めます。開会式は、各国が鮮やかなユニフォームで行進し、盛大に行われます。サモアのユニフォームはもちろん、民族衣装のラバラバです。

●太平洋諸島フォーラム

南太平洋の9つの独立国と5つの自由連合国、オーストラリア、ニュージーランドによって構成される地域協力機構で、太平洋で中核的な位置を占めています。設立のきっかけは、1960年代に行われたフランスによるフランス領ポリネシアでの核実験です。太平洋諸島はこれに強く反発し、政治問題の討議と共同行動を起こすための場を自力で作ろうと、1971年に前身となる南太平洋フォーラムを設立しました。

●太平洋・島サミット

正式名称は、日本・太平洋諸島フォーラム首脳会議 (Pacific Islands Leaders Meeting) といい、頭文字をとって、PALM (パーム) と呼ばれます。フォーラム諸国の首脳を日本に招き、太平洋島嶼国・地域が直面する様々な問題について意見交換を行います。1997年から、3年に一度開催されています。





フォトギャラリー

～タロファ！ サモアの人びと～

「タロファ」は、サモア語でこんにちは！ 笑顔あふれるサモアの人びとを紹介します！



花飾りをつけるサモアの女性。
道や庭に咲く花や、造花の髪飾りを
さりげなくつけます。



あぐらで座り、膝でリズムを取って手足をたたくサモアの伝統的なダンス。舟をこいだりヤシの木に登ってココナツを採ったりと、ところどころにサモアの暮らしや文化を表す振り付けが入っています。





元気いっぱい! サモアの子どもたち。



カルチャーデー (文化祭) のようす。
プログラムは、演劇、スピーチ、伝統的な歌、ダンス、サモアンフード・アイテム作りと様々。チームごとにおそろいの衣装を、民族衣装のラバラバとプレタシで作ります。





ちょっとブレイク



～サモアの歴史と受け継がれる伝統～

サモア独立国とアメリカ領サモア

サモア独立国の東隣、地図を見ると「アメリカ領サモア」があります。どちらもサモアですが、「サモア独立国」と「アメリカ領サモア」という別々の国です。1899年までは主要4島から成るひとつの国でした。

19世紀後半、西洋列強が南太平洋に進出すると、サモア諸島はその勢力争いの舞台となります。当時、サモア国内では有力首長同士の争いが起きており、ドイツ、アメリカ、イギリスの3カ国はそれに加担することでサモア諸島での影響力の拡大を狙いました。この3カ国は1899年、西経171度線を境に西側をドイツ領西サモア、東側をアメリカ領東サモアとすることを決めました。南太平洋での植民地開発が目的だったドイツが、土地や人口が比較的豊かなウポル島とサバイイ島を、軍事拠点となる軍港を求めているアメリカが、天然の良港であるパゴパゴ湾を持つツツイラ島とその東のマヌア諸島を領有しました。イギリスは、隣のトンガ、ニウエ、ソロモン諸島と引き換えに、サモア諸島の権利を放棄しました。

西サモアはその後、第一次世界大戦時にニュージーランドに軍事占領されますが、ニュージーランドは長くイギリスの植民地だったため異民族を支配することに慣れておらず、現地人との間にすれ違いが生じていきます。やがて「マウ」という異議申し立てによる反政府運動が起こり、運動にはサモア人首長のほかに白人や混血の実業家も加わりました。運動は独立運動になり、1962年、南太平洋で最初の独立国「西サモア（現サモア独立国）」が誕生します。一方、東サモアは、アメリカ海軍による軍政が敷かれ、アメリカ領となりました。アメリカ領サモア人は、合衆国国民としてパスポートが与えられ、アメリカ本土に弊害なく出入りできました。その結果、多くの人々が本土へ移民するようになりました。1950年代後半、遠洋漁業の基地や缶詰工場ができるも移民の流れは止まらず、結局工場は近隣の西サモア人やトンガ人の移民労働者が数多く働くことになりました。アメリカ領サモアは、財政援助は本土からうけつつ自治はサモア人の手により行われています。そのためか、独立への動きはほとんど出ていません。

サモア諸島は火山島で、自然環境や生態系が似ています。分断前は比較的均質な社会で、ほぼ同じような村落構造を持ち、方言も存在しないほどでした。しかし、現在のサモア独立国とアメリカ領サモアには違いがあります。前者は絶対的リーダーである首長制度が維持され伝統を重んじ、後者は人民による民主主義や人間の平等性を重視します。前者の人びとはサモア人として自国に暮らし、後者はアメリカの中の先住民族という位置づけです。前者は国内産業の振興や観光開発による経済的自立を模索し、後者はアメリカ合衆国の制度的枠組みの中で市民としての地位向上を求めています。前者はニュージーランドの影響でラグビーやクリケットが人気、後者はアメリカンフットボールが人気。分断によって別々の道を歩んだ、近くて遠い「サモア独立国」と「アメリカ領サモア」です。

受け継がれる伝統と芸術 ～サモアのアートに触れる～

南太平洋の多くの国が、外国からの影響により独自の伝統を維持することが難しくなっているなか、サモア独立国は最も素朴で伝統的なポリネシアの慣習を守って生活をしています。先人達は生活に必要な物を島の限りある資源の中から作り出す知恵を身につけ、それらが世代間に受け継がれて今日があります。自給自足経済への依存度が高く、人々は自国の伝統文化や習慣に誇りと愛着を持って暮らしています。



▲タパでつくられたカバン

●樹皮紙「タパ」

ポリネシアの伝統技術に、木の皮を伸ばして作られる「タパ」という不織布があります。女性の細やかな手仕事で作られ、花や幾何学的な美しい伝統模様が描かれます。伝統工芸品は市場で売ることができ、現金収入が得られ、経済的自立の手助けともなります。村落部では女性のコミュニティがあり、集会所に集まって工芸品を作ったり、夜は踊りの練習をしたりします。家族はもちろん、人と人が強くつながり、伝統が受け継がれていきます。



▲子どもたちはボールペンでタタウの模様を落書き

●タトゥーの語源「タタウ」

体に模様を刻む慣習は、ポリネシアでは「タタウ」といいます。1830年代、キリスト教普及の目的で訪れた宣教師によって伝統文化の一切が禁止され、タタウも彫られなくなりました。しかしサモアだけは、キリスト教改宗後も従来の手彫りが続けられました。タタウは、1980年代に起きたポリネシア文化復興運動により各地で復活しましたが、伝統的なタタウ文化を絶やすことなく今日まで残してきたのは唯一サモアのみです。デザインにはそれぞれ意味があり、男性と女性で模様が異なります。



上：向井昌紀／下：ブログ「最後の楽園サモアの国へ」



第4章

そして未来へ

※ P. 30の「世界各国からの援助・支援」については、2012年作成教材に当該国の他、下記の国の写真とエピソードが掲載されています。



教 材



掲載されている国

アイスランド・キューバ・スウェーデン・ブルンジ	アンゴラ・インド・オーストラリア・英国・エチオピア・エルサルバドル・中国・ポーランド
アイルランド・カタール・グアテマラ・トンガ	アメリカ・ウガンダ・カザフスタン・ベトナム・モロッコ
アルメニア・コンゴ民主共和国・シンガポール・ドイツ	アゼルバイジャン・エジプト・カナダ・カンボジア・スイス・タイ・パプアニューギニア
アルゼンチン・エクアドル・ツバル・バングラデシュ	イタリア・インドネシア・サウジアラビア・チュニジア・パナマ・ホンジュラス・マーシャル諸島
オーストリア・ソロモン諸島・ブータン・ブルネイ	ウズベキスタン・ガボン・ジブチ・スリランカ・デンマーク・ベリーズ・ベルギー
イエメン・ギリシャ・パラオ	キルギス・ノルウェー・パキスタン・フィリピン・ブルガリア・マリ・メキシコ
チェコ・ナイジェリア・マダガスカル	オランダ・セネガル・大韓民国・ドミニカ・ネパール・ボスニアヘルツェゴビナ・ミクロネシア・リトアニア・ルワンダ・ロシア
ギニア・クロアチア・コスタリカ・サモア・タンザニア	イラン・ガーナ・フィンランド・フランス・ベナン・マレーシア・南アフリカ
ウクライナ・ザンビア・モーリタニア	グルジア・スペイン・トルコ・ブルキナファソ・ベネズエラ・ポルトガル・モンゴル
ジンバブエ・ニカラグア・ペルー・ルーマニア	ケニア・スーダン・ニュージーランド・ヨルダン・ラオス

未来を語ろう！～忘れない。日本の強さと世界の優しさ～



2011年3月11日14時46分18秒、東日本大震災が発生。津波により多くの方たちが犠牲になり、多くの街が壊滅しました。この災害で、私たちが学んだことは…？

- ① 3.11の大震災。信じられないような大きな被害を受け、いままで「あたり前」と思っていたことがあたり前でなくなった瞬間でした。みなさんは、どんなことを思いましたか？ まずは自由に話し合ってみましょう。



東日本大震災写真保存プロジェクト

- ② 発災直後から、多くの支援、援助が世界中から寄せられました。また、日本人のモラルの素晴らしさが評価されたという報道も流れました。P. 30～31の資料を見て、どんなことを感じますか？
- ③ 『PRAYFORJAPAN 3.11 世界中が祈りはじめた日』(→P. 31)の中に、こんなメールが紹介されていました。



未来の歴史の教科書に「この大地震で壊滅的な被害を受けたが、日本は見事に立ち直っていった。」というふうに書かれていてほしいです。

さて、みなさんはどんなふうに書かれていてほしいと思いますか？



日本はどうなっていたいでしょう？



みなさんの住む地域はどうなっていたいでしょう？



日本は国際社会の中でどんな存在でありたいでしょう？



そして、世界の国々、この地球はどんなふうになっていて欲しいでしょう？

そうしたことを踏まえ、未来の教科書「2011年3月11日14時46分18秒東日本大震災が発生し、日本は壊滅的な被害を受けました。」の続きを考えてみましょう。

- ④ それぞれが考えた教科書を、みんなで読みあってみましょう。
- ⑤ さて、みなさんが考えた未来の地球、未来の日本、未来の地域を創るために、今、私たちにできることは何でしょう？ グループで話し合ってみましょう。

世界各国からの援助・支援

派遣された救助チーム
専門家チーム

24 カ国/地域
+ **5** 機関

派遣された人数

1,200 名以上

(11月1日現在)

在外公館で受け付けた
義捐金総額

約 **84** 億
5,000 万円

(9月15日現在)

人的支援・物資支援寄
付金等の支援の申し出
(支援意図の表明)

163 カ国/地域
+ **43** 国際機関

(11月1日現在)

外国政府等からの援助
物資・寄付金の提供

126 カ国/地域
国際機関
総額 **175** 億円以上

(11月1日現在)



フィンランド

3月18・19日、雪の中、街頭で募金活動が実施されました。



クロアチア

芸術アカデミーの向かいの壁に、若者有志が作成した「オシエク市は日本の人々と共にいます」と記された日本国旗の絵が掲げられました。



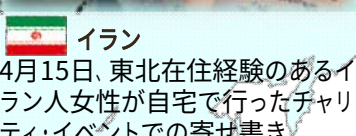
フランス

4月10日に行われたパリマラソンのコース沿道に、日本国旗と被災地応援メッセージが掲げられました。



ギニア

3月23日、市立マハトマ・ガンディ学院の生徒・教員約80名が日本大使館を訪問し、スピーチと詩の朗読を行いました。



コスタリカ

5月6日、2009年のコスタリカ大地震で被災したADEバイリンガル高校の生徒が千羽鶴を折る日本の習慣を自分たちで調べ、被災した子供たちを元気づけたいという想いをこめて折りました。



ベナン

「日本は伝説的な援助国で、これまでベナンに対して寛大な経済・技術協力をしてくれた。ベナンの発展は日本のおかげである。そのような日本のために何かしたいという思いをベナン人すべてが抱くのは自然である。



マレーシア

スリ・ダスミシュ学校の生徒が、日本大使館に手作りのメッセージカードを託しました。



タンザニア

4月27日、ダルエスサラーム市キガンボニ文化センターの児童(ほとんどが孤児)が、お見舞いのメッセージと絵を日本大使館に送付しました。



南アフリカ

3月27日、ヨハネスブルグでの募金活動「AID 4 JAPAN South Africa」での黙とう。



ガーナ

首都アクラの一部を統括する最高位首長(伝統的権威)が、被災者のため、伝統的な様式による特別な祈りの儀式を実施しました。



南アフリカ救援隊
3月19日宮城県
名取市での活動



※ ここに紹介した活動はほんの一部です。他にも多くの活動・支援がありますので、下記のウェブサイトを見てみましょう。



外務省ウェブサイト「がんばれ日本 世界は日本と共にある」『世界各地での支援の様子(フォトギャラリー)』

心が温くなるメール ～『PRAYFORJAPAN 3.11世界中が祈りはじめた日』より～

2011年3月11日14時58分、ツイッターに「prayforjapan (日本のために祈る)」という投稿が届きました。

そしてそれ以降、何十万というメッセージが世界中から次々に寄せられました。震災時、一時避難所に避難していた大学生が、そのメッセージをまとめたウェブサイトを立ち上げました。そこには、海外からのメッセージの他に、日本国内で起きた心温まるエピソードも寄せられました。

そうしたメッセージやエピソードは『日本の財産である』と、1冊の本にまとめられています。



東横線の車掌さん、アナウンスで「大変なことになってますが、ここが頑張りどころです。みんなで力を合わせて乗り切りましょう」と。たぶん、マニュアル外だと思う。素敵だ(^^)



物が散乱しているスーパーで、落ちていたものを律義に拾い、そして列に黙って並んでお金を払って買い物をする。運転再開した電車で混んでいるのに妊婦に席を譲るお年寄り。この光景を見て外国人は絶句したようだ。本当だろう、この話。すごいよ日本。



昨日の夜中、大学から徒歩で帰宅する道すがら、とくに閉店したパン屋のおばちゃんが無料でパン配給していた。こんな喧騒の中でも自分にできること見つけて実践している人に感動。心温まった。東京も捨てたもんじゃないな。



バイト中に地震があって、ほぼ満席の状態からお客さんに外に避難してもらいました。食い逃げ半端ないだろうな、と思っていたが、ほとんどのお客さんが戻ってきて会計してくれました。ほんの少しの戻れなかったお客さんは、今日わざわざ店に足を運んでくださいました。日本っていい国。



昨日、韓国のツイッターで話題になった話。韓国駐在の日本人がタクシーに乗ってからお金を払おうとしたら、あっさり拒否されたい。『日本人でしょう？ 日本に帰ったら、このタクシー代を寄付しなさい。』国籍とか政治とかは別にして、一般庶民の考え方はみんな同じ。



避難所で4人家族なのに「分け合って食べます」と3つしかおにぎりをもらわない人を見た。凍えるほど寒いのに、毛布を譲り合う人を見た。きちんと一列に並んで、順番を守って物資を受け取る姿に日本人の誇りを見た。



亡くなった母が言っていた言葉を思い出す。「人は奪い合えば足りないが分け合うと余る」。被災地で実践されていた。この国の東北の方々を、日本を、誇りに思います。



M9.0 世界最大級となったのか。じゃ、今後復興のためのエネルギーも愛も、世界最大級にしないか。



誰かに頑張って欲しいと願うなら、100回『頑張れ』と言うよりも、自分が1回頑張った方が伝わる。私たちが、頑張ろう。



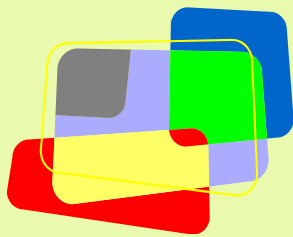
世界各国から勇敢なレスキューチームが東北の被災地へ赴き、危険を顧みずたくさんの人々を救ってくれました。彼らの力強く、そして温かなサポートに心からの感謝を贈りたいと思います。本当にどうもありがとう!!



日本は今まで世界中に援助をしてきた援助大国だ。今回は国連が全力で日本を援助する。

国連からのコメント

参 考 資 料



目で見えるサモア



この国旗は1962年に西サモアとして独立する以前の統治国だったニュージーランドの国旗を参考に作られました。1997年に現在の国の名前に変更した時も、国旗は変わりませんでした。青色は自由、赤は勇気、白は純潔を表しています。星は南十字星で、国が南半球にあることを示しています。

● 人口 ● (2009年)



179,000人



127,156,000人



● 面積 ●



2,840km²

(鳥取県よりやや小さい)



377,947km²



● 宗教 ●

キリスト教 (カトリック
メソジスト モルモン教等)

● 気候帯 ●



熱帯雨林気候

● 言語 ●



サモア語 英語
(共に公用語)

● 通貨 ●



サモア・タラ

● 民族 ●

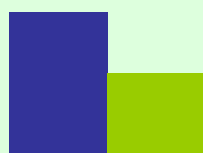
サモア人 (ポリネシア系)
その他 (欧州系混血 メラネシア系
中国系 欧州系等)

● 日本との時差 ●

+4時間



● 平均気温 ●



ムリヌウ 名古屋
27.1℃ 16.6℃

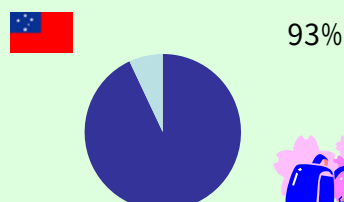
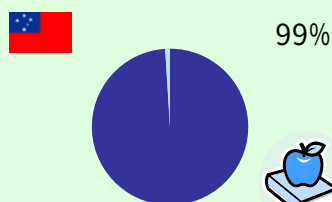
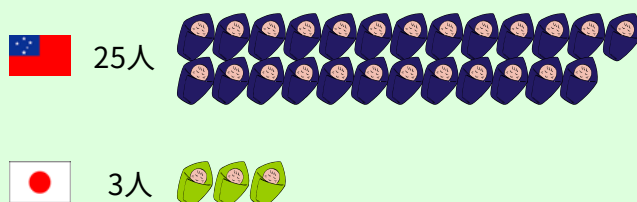
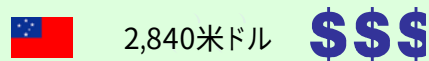
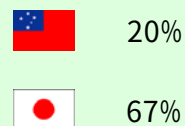
● 年間降水量 ●



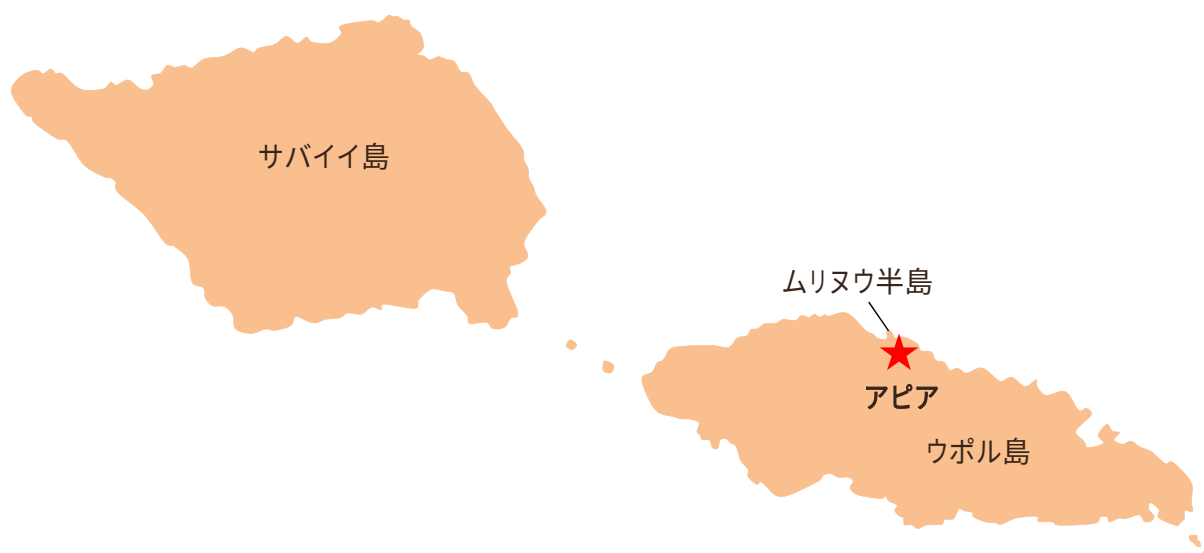
ムリヌウ 名古屋
2,330.8mm 1,730mm

◆国旗:『世界の国旗』吹浦忠正監修 (Gakken)、『世界の国旗と国章大図鑑』刈安望編著 (平凡社) ◆面積・首都・民族・通貨・言語・宗教:外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」 ◆人口:世界子供白書2011 (ユニセフ) ◆日本の面積:総務省統計局「日本の統計2011」 ◆気候帯:探検しよう! みんなの地球 ◆平均気温・年間降水量:Samoa Bureau of Statistics「Statistical Abstract 2009」(2009年のデータ) ◆名古屋の平均気温・年間降水量:愛知県ウェブサイト「一ポケット情報あいちー土地・気象、人口、農林漁業、事業所」(平成22年) ◆日本との時差:「世界の国一覧表 2007年版」(財団法人世界の動き社)

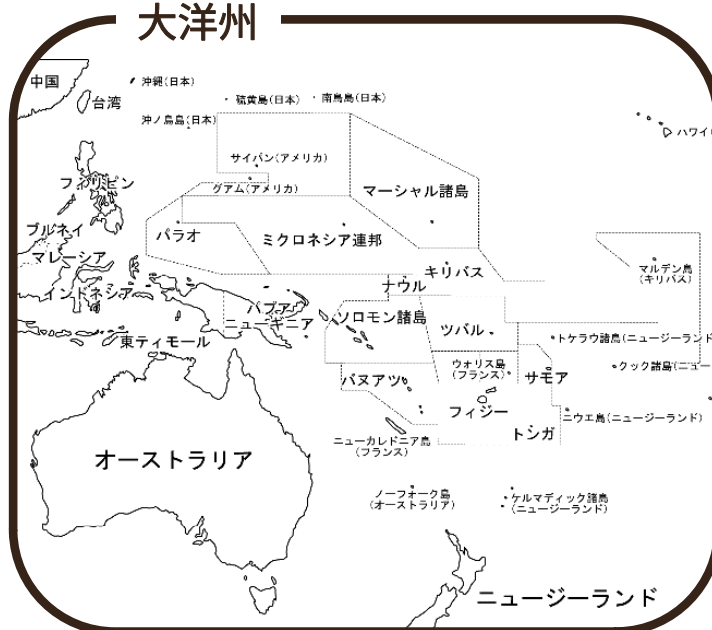
A stick figure is shown looking at a green line graph on a screen. The graph shows a red line that starts at the bottom left and trends upwards to the top right, with some minor fluctuations. The figure has a surprised or happy expression, with a wide smile and a small 'eureka' spark above its head.

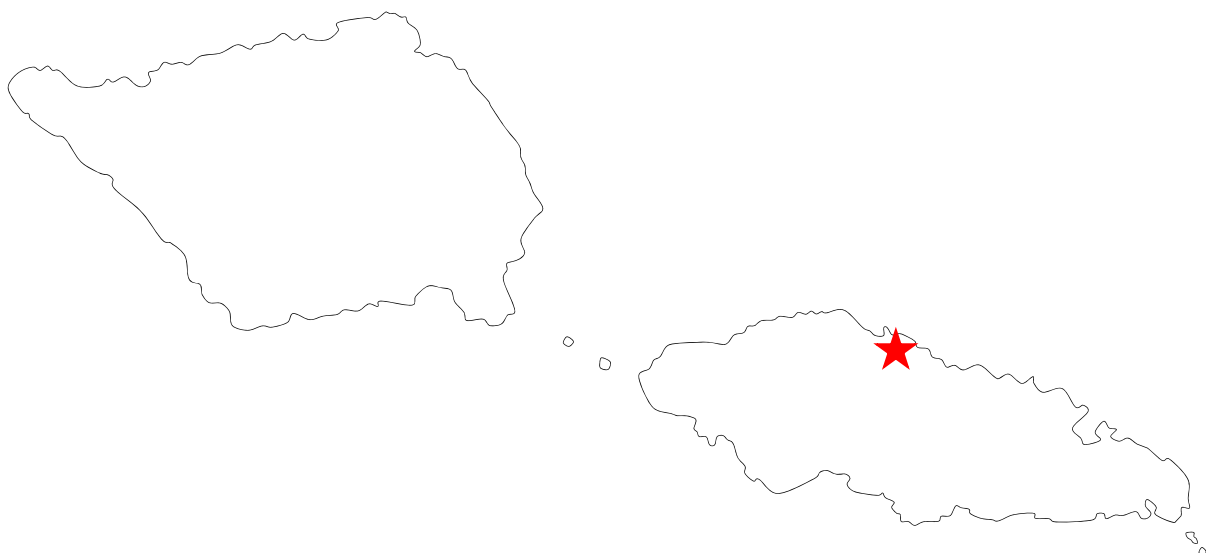


サモア地図

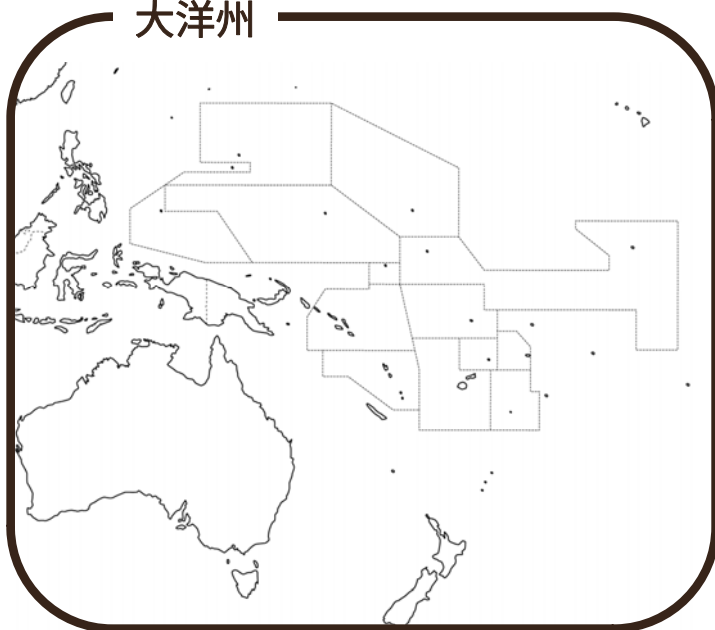


大洋州





大洋州





参考文献・データ等の出典

- 外務省ウェブサイト
 - 「各国地域情勢」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>
 - 「探検しよう! みんなの地球」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyu/index.html>
 - 「がんばれ日本! 世界は日本と共にある」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/saigai/episode.html>
 - 「世界各地での支援の様子(フォトギャラリー)」 http://www.flickr.com/photos/mofaj_tohoku/collections/
 - 「日本・PIF未来創造高校生交流事業」 http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/pif/hs_koryu/
 - 「太平洋・島サミット」 http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/ps_summit/
- 総務省統計局ウェブサイト「日本の統計」 <http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm>
- 公益財団法人日本ユニセフ協会ウェブサイト『世界子ども白書2011』
<http://www.unicef.or.jp/library/index.html>
- 独立行政法人国際協力機構ウェブサイト <http://www.jica.go.jp/>
- 青年海外協力隊サモアOB会 <http://www.fafetai.net/>
- 青年海外協力隊員ブログ
 - 「Record of My Activity in SAMOA」 <http://blogs.yahoo.co.jp/masakifx/>
 - 「最後の楽園 サモアの国へ」 <http://samoan-life.at.webry.info/>
- Samoa Tourism Authority <http://www.samoa.travel/>
- 南太平洋観光局 <http://www.south-pacific.travel/spto/export/sites/spto/japanese/>
- 国際機関 太平洋諸島センター <http://blog.pic.or.jp/>
- パシフィックインターナショナル株式会社 <http://www.pijpn.co.jp/>
- 太平洋諸島検定シリーズ公式サイト <http://kentei.unisc.jp/>
- 近代史のなかのオセアニア国家 近くて遠い隣人たち
—近代史の中の西サモアとアメリカ領サモア— (国立民族学博物館) <http://hdl.handle.net/10502/3680>
- 『PRAYFORJAPAN 3.11世界中が祈りはじめた日』 prayforjapan.jp編 講談社
- 『美しい島の未来のために 大洋州における日本の廃棄物管理分野の協力』 (JICA)
- 『We are islanders! -太平洋の未来のために-』 (JICA)
- 『南太平洋を知るための58章 メラネシア ポリネシア』 吉岡政徳・石森大知編著 (明石書店)
- 『先住民族シリーズ5 南太平洋諸島の人びと』 ヴィルソニ・ヘレニコ, パトリシア・ヘレニコ著 (リブリオ出版)
- 『きみにもできる国際交流13 フィジー・トンガ・サモア』 こどもくらぶ編著 (偕成社)
- 『地球の歩き方C06 フィジー・サモア・トンガ』 (ダイヤモンド・ビッグ社)
- 『赤塚不二夫とタモリの西サモアに行ってこれでいいのだ』 赤塚不二夫・タモリ著 (講談社)
- 『南太平洋「ブラッ」と旅』 長谷川まり子著 (双葉社)
- 『楽園考古学 ポリネシアを掘る』 篠遠喜彦・荒俣宏著 (平凡社)
- 『オセアニア暮らしの考古学』 印東道子著 (朝日新聞社)
- 『講座 世界の先住民族10 失われる文化・失われるアイデンティティ』 綾部恒雄監修編 (明石書店)

ご協力いただいた方たち【敬称略】

- 堀川 絵美 ● 阿部 公
- 向井 昌紀



2011年度教材作成チーム

碧南市 犬山市 あま市 長久手市 扶桑町
 特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター
 公益財団法人 愛知県国際交流協会



世界の国を知る  世界の国から学ぶ
わたしたちの地球と未来

 サモア独立国 

2012年3月

**発行
編集**

公益財団法人 愛知県国際交流協会
〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目6番1号
あいち国際プラザ

TEL: 052-961-7904 FAX: 052-961-8045

E-mail: koryu@aia.pref.aichi.jp

URL: <http://www2.aia.pref.aichi.jp>

印刷

トッパン・フォームズ株式会社



